

証券コード:7472

“百年の信頼を未来につなげる”

会社説明会

2024年9月12日（木）



株式
会社

鳥羽洋行



鳥羽洋行が皆様へお伝えしたい事



- ◆ 会社概要
- ◆ 鳥羽洋行を知る
- ◆ 第4次中期経営計画
▶ *Next Stage 2027*
- ◆ 業績について
- ◆ 今後の戦略について
- ◆ 積極的な株主還元



株式
会社

鳥羽洋行



会社概要



会社概要 ～概要と沿革～

株式会社鳥羽洋行 (TOBA,INC.)

- **上場市場**：東京証券取引所スタンダード（証券コード 7472）
- **所在地**：東京都文京区水道二丁目8番6号
- **資本金**：11億4,800万円
- **従業員数**：【連結】299人 【単体】261人 ※2024年6月30日現在。従業員数は、嘱託社員を含む。
- **ISO14001**：2007年2月に本社および全営業所で認証取得
- **ISO9001**：2019年7月に本社および全営業所で認証取得

創業から118年、生産設備の専門商社としてモノづくりに貢献

1906年9月

創業（中国大連市）



創業者：鳥羽真作 および 大連時代の本社



1949年12月

設立（東京都銀座）



旧本社（銀座）

1995年11月

株式店頭公開
（のちのJASDAQ）



二代目社長：鳥羽実



現在の本社（文京区）

2022年4月

市場再編により
スタンダード市場へ





会社概要 ～企業理念・社是～

企業理念

百年の信頼を未来につなげるため、
「**信用第一主義**」を貫き、
産業の発展と地球環境に貢献する企業を目指します。

社是

1. 当社は社会人類に貢献するためにある。
2. 当社は社員の向上と幸福を計るためにある。
3. 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する。
4. 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する。
5. 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、能率的に経営し、信用を第一におく。

(1956年制定)



株式
会社

鳥羽洋行

A large, light green circle with a gradient, positioned behind the main title text.

鳥羽洋行を知る



鳥羽洋行を知る ～生産設備の専門商社～

私たちの生活を取り巻くあらゆるモノが工場で作られています。



鳥羽洋行は、あらゆる生産設備に関する
商材を取り扱う専門商社です。



鳥羽洋行を知る ～当社の特徴～

鳥羽洋行は「**メカトロニクスの専門商社**」です。

1. 取扱い商品による分類

- ① **FA機器**
- ② 工作機械関連
- ③ 電気部品・部材
- ④ その他

2. 販売形態による分類

- ① **直販型**
- ② 卸売型
- ③ 通信販売型

3. 販売地域による分類

- ① **広域展開**
- ② 地域限定



鳥羽洋行を知る ～取扱商品分類および代表例～

制御機器



エアシリンダ・バルブ
(空気圧機器)



チラー
(温調機器)



各種センサ

F A 機器



産業用ロボット
(大型・小型・協働)



マウンター
(半導体・電子部品)



無人搬送車 (AGV)

産業機器



ろ過フィルター
(半導体)



電動ドライバー
(組立て工具)



ベルトコンベア
(搬送)

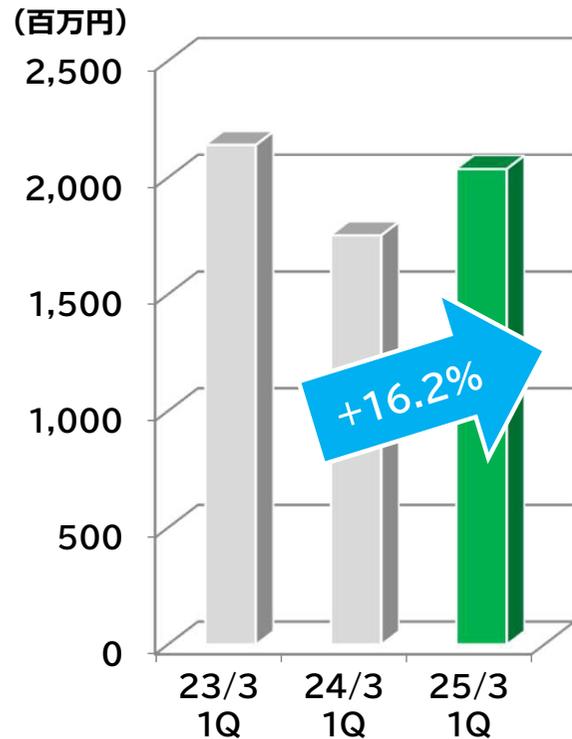
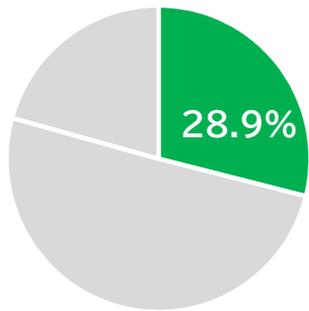


鳥羽洋行を知る ～商品部門別実績・2025年3月期 1Q～

制御機器

連結売上高

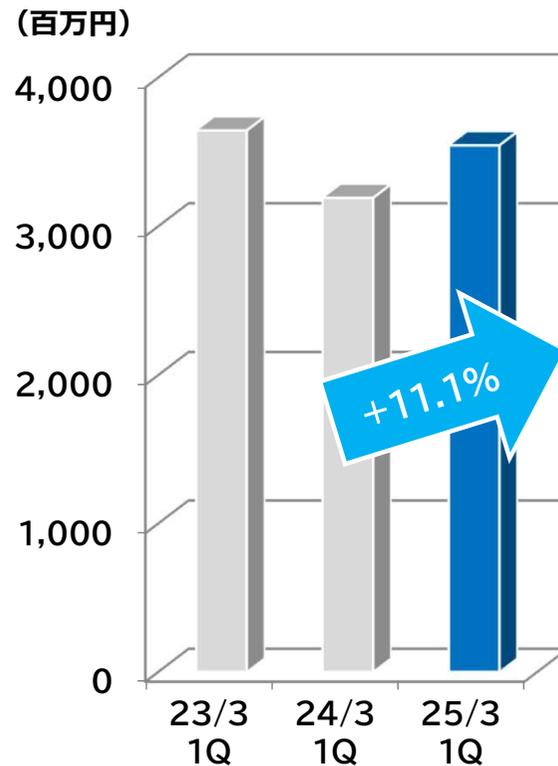
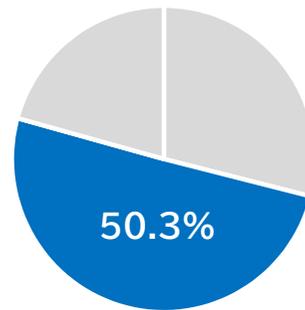
20億37百万円



FA機器

連結売上高

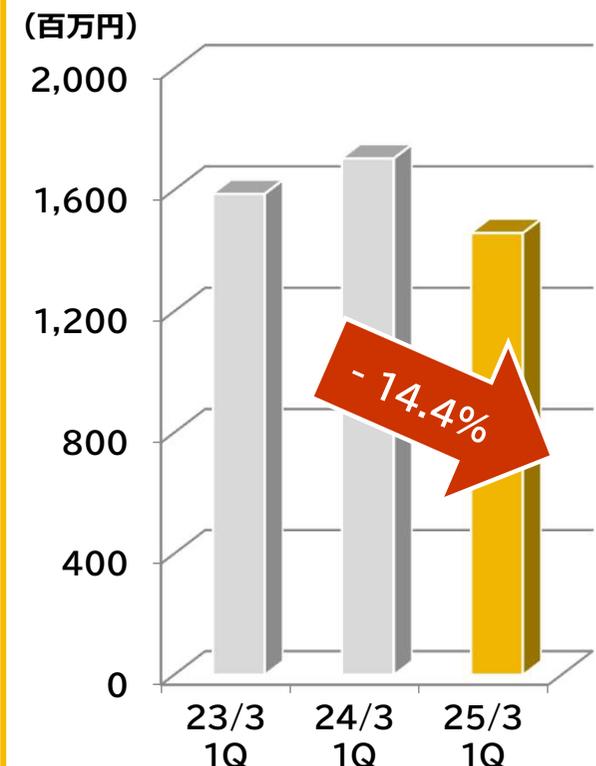
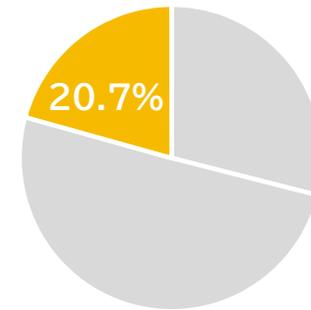
35億44百万円



産業機器

連結売上高

14億58百万円





鳥羽洋行を知る ～注目商品 『協働ロボット』～

協働ロボットとは、本体に安全センサーを組み込むなど、**人に対する安全性を確保**できるようになったロボットです。特別な安全対策を講じる必要が少なく、**作業者のすぐ近くで使用できる**ことから、導入の幅が広がっております。

ユニバーサルロボット
UReシリーズ



カワダロボティクス(株)
NEXTAGE

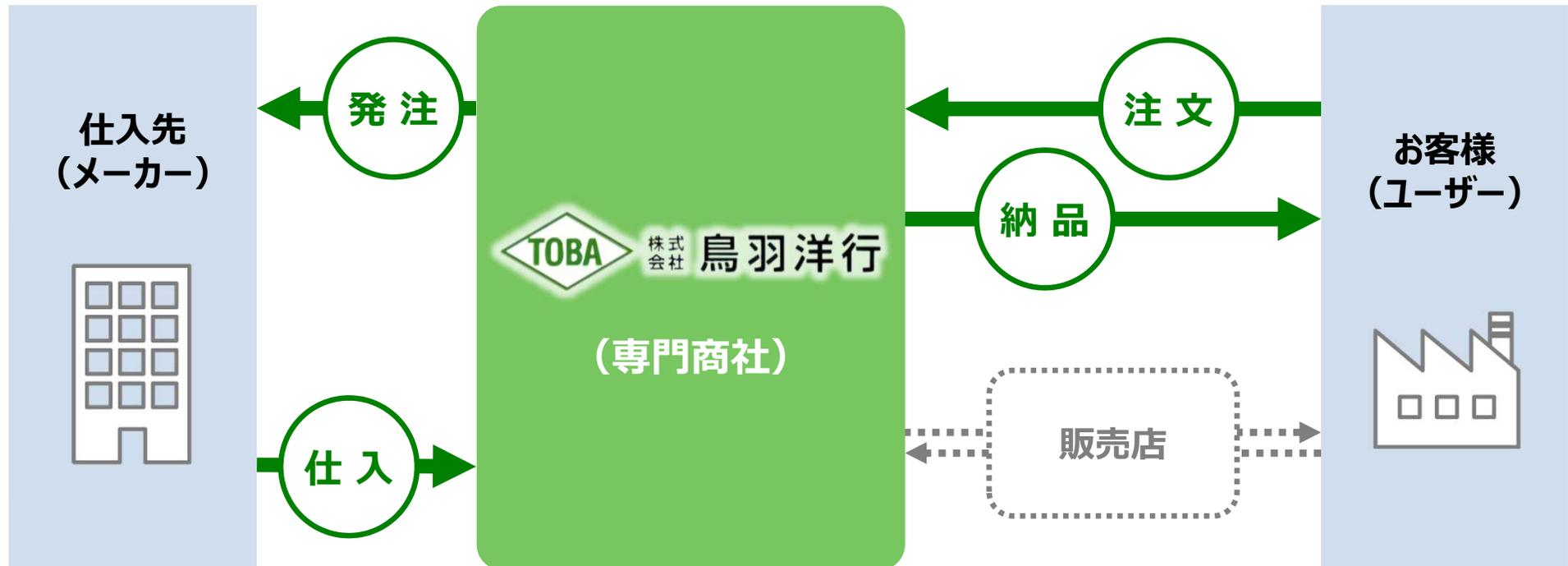


写真提供：カワダロボティクス株式会社



鳥羽洋行を知る ～直販体制（直販型）～

当社は、お客様(ユーザー)へ直接販売を行う「直販体制」を構築しております。



「直販体制」のメリット

- ・ お客様の情報をダイレクトかつタイムリーに収集できる
- ・ お客様の要求に対して最適な提案とスムーズな交渉ができる
- ・ 販売店を介さないため短納期で商品を提供できる



鳥羽洋行を知る ～卓越した専門スキル～

鳥羽洋行では、営業担当者による各種専門資格の取得を推進しております。国家資格に加え 各メーカーの**SE（セールスエンジニア）認定**などを取得し、メーカーの代行営業を実施しております。

資格名等（重複所持含む）

■ 空気圧装置組立技能士 1級	79名
■ 空気圧装置組立技能士 2級	54名
▲ SMC SE認定	68名
▲ IAI SE	58名
▲ デンソーロボット SE認定	51名
▲ パナソニック IPD・モータ SE認定	3名
■ 2級建築施行管理技術	1名
■ その他	7名



※表内は、2024年8月末時点の取得状況です。



鳥羽洋行を知る ～販売ネットワーク（広域展開）①～

国内23ヶ所の営業拠点

全国各地に拠点を設置し、徹底したサポート体制を実現。

西日本ブロック

- 滋賀営業所
- 大阪営業所
- 兵庫営業所
- 広島営業所
- 福岡営業所
- 大分営業所

関東ブロック

- 茨城営業所
- 千葉営業所
- 東京営業所
- 東京南営業所
- 八王子営業所
- 厚木営業所
- 甲府営業所

北関東ブロック

- 青森営業所
- 仙台営業所
- 宇都宮営業所
- 前橋営業所
- 熊谷営業所
- 川越営業所

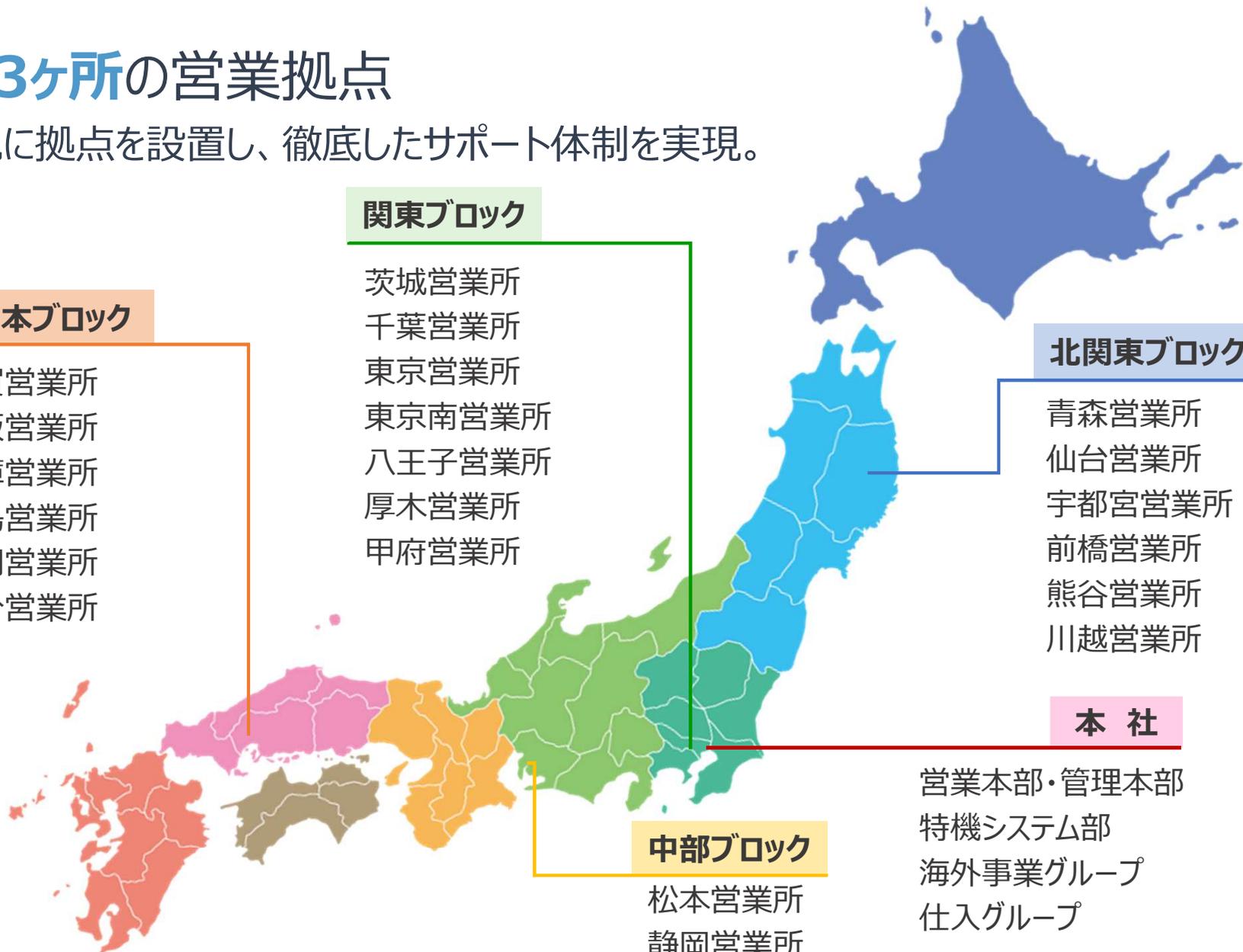
本社

- 営業本部・管理本部
- 特機システム部
- 海外事業グループ
- 仕入グループ

中部ブロック

- 松本営業所
- 静岡営業所
- 名古屋営業所

四日市営業所 ※2024年4月開設





鳥羽洋行を知る ～販売ネットワーク（広域展開）① 補足～

四日市営業所を新設いたしました。

■ 所在地

〒510-0882

三重県四日市市追分1丁目6-19

電話番号:059-325-6367

FAX番号:059-325-6368



2024年4月、名古屋営業所から分離独立し、四日市営業所を新設いたしました。四日市市を中心とした三重地区にて、地域に密着したサービスを展開し、同地区での販売を強化してまいります。



鳥羽洋行を知る ～販売ネットワーク（広域展開）②～

海外3カ国に5カ所の営業拠点

中国

- 鳥羽（上海）貿易有限公司（2008年）
- （同公司）深圳分公司（2011年）
- （同公司）蘇州分公司（2014年）

ベトナム

TOBA, INC. (VIETNAM) CO., LTD (2020年)
所在地：ハノイ

タイ

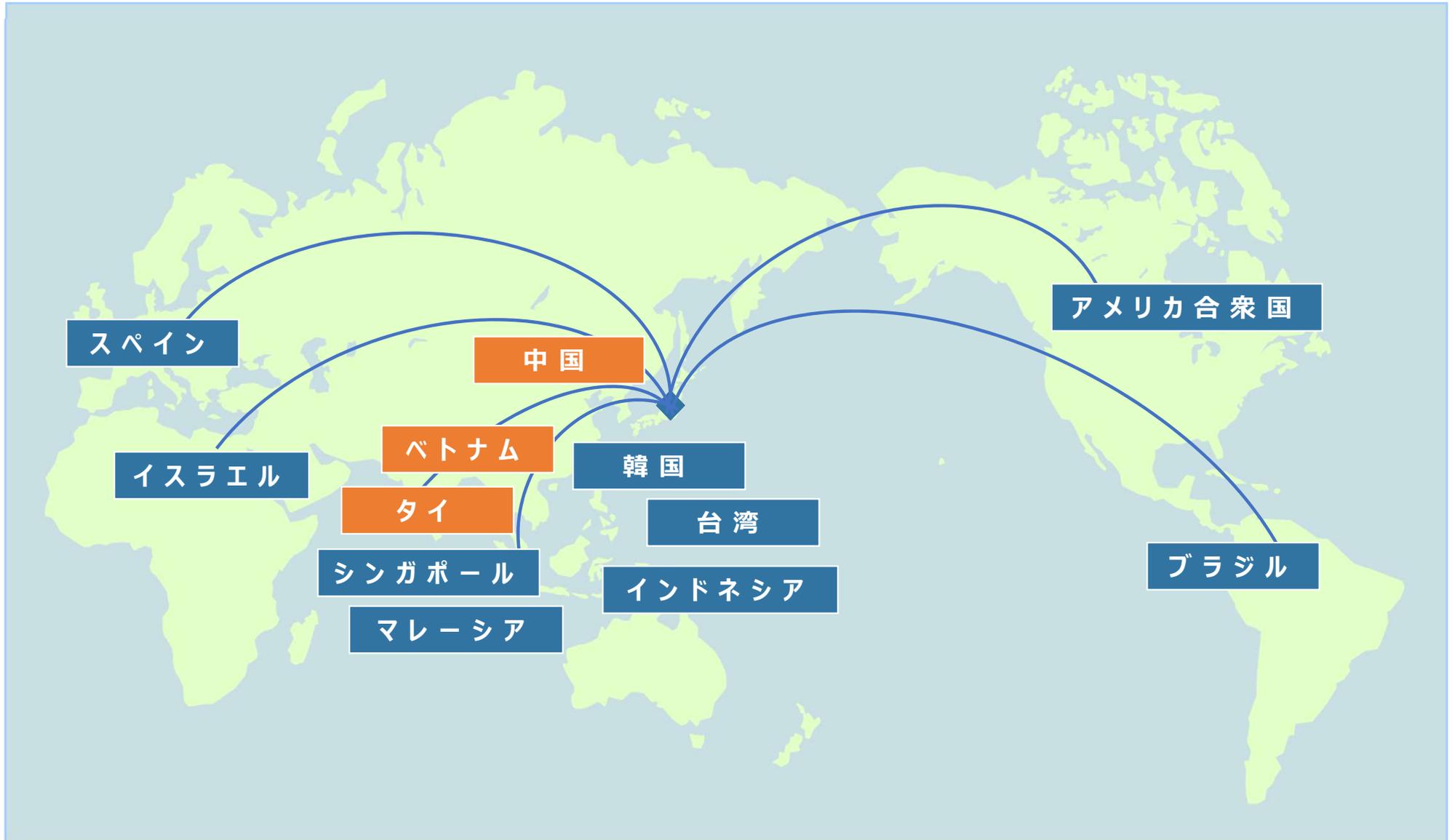
TOBA (THAILAND) CO., LTD. (2012年)
所在地：バンコク





鳥羽洋行を知る ～販売ネットワーク（広域展開）③～

「海外事業グループ」を通じて国内から全世界へ商材を販売しております。





株式
会社 鳥羽洋行

第4次中期経営計画



Next Stage 2027



第4次中期経営計画

Next Stage 2027

(単位：百万円)

単位：百万円	第76期	第77期	第78期
	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
売上高	31,000	34,000	37,000
営業利益	1,950	2,020	2,250
経常利益	2,040	2,120	2,350
当期純利益	1,380	1,460	1,620

(単位：百万円)



※当社グループは、経営環境の変化等に対応すべく「ローリング方式」により、中期経営計画を毎年度策定することとしております。



株式
会社

鳥羽洋行



業績について



業績について ~2025年3月期第1四半期決算①~

<連結損益計算書の概要>

(単位：百万円)

	24/3月期 1Q	25/3月期 1Q	前期比 (増減率)	備 考
売上高	6,650	7,040	5.9%	国内販売は、前期比で微減 海外販売は、前年比プラスで推移
営業利益	317	291	△8.3%	販売管理費が、前期比9.4%増加 売上総利益率は前期比0.3ポイント減
営業利益率	4.8%	4.1%	△0.7P	
経常利益	350	339	△3.1%	
経常利益率	5.3%	4.8%	△0.5P	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	239	229	△4.5%	
四半期純利益率	3.6%	3.3%	△0.3P	



業績について ~2025年3月期第1四半期決算②~

<連結貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

	24/3月末	構成比 (%)	24/6月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	24,596	76.6	22,971	75.5	
現金・預金	12,648	39.4	11,850	39.0	
受取手形・売掛金 ・電子記録債権	11,387	35.4	10,513	34.6	
商品	351	1.1	509	1.7	
固定資産	7,527	23.4	7,437	24.5	
資産合計	32,124	100.0	30,409	100.0	
流動負債	11,053	34.4	9,635	31.7	
支払手形・買掛金 ・電子記録債務	9,868	30.7	8,809	29.0	
固定負債	580	1.8	601	2.0	
負債合計	11,633	36.2	10,236	33.7	
純資産合計	20,491	63.8	20,172	66.3	
負債純資産合計	32,124	100.0	30,409	100.0	



業績について ~2025年3月期の連結業績予想~

(単位：百万円)

	24/3月期 (実績)	25/3月期 (予想)	前期比 (増減率)
売上高	28,449	31,000	9.0%
営業利益	1,514	1,950	28.7%
営業利益率	5.3%	6.3%	1.0P
経常利益	1,618	2,040	26.1%
経常利益率	5.7%	6.6%	0.9P
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,074	1,380	28.4%
当期純利益率	3.8%	4.5%	0.7P



株式
会社

鳥羽洋行



今後の戦略について



今後の戦略について ～事業戦略①～

◆ 5つの柱 ～中期計画達成への取組み～

1 次世代の柱となるユーザーの新規開拓、育成

- ・積極的な展示会出展と来場者フォローによる新規顧客開拓
- ・M & Aによるシナジーを活かした売上/利益の拡大

2 新商材発掘（SDGs/環境や人にやさしい商品）

- ・環境負荷や労働負荷を低減できる新たな商材の発掘

3 装置ビジネスの更なる販売強化

- ・労働力不足を補う自動化機器とロボットの販売強化

4 技術商社としての存在価値強化（ブランド強化）

- ・各種専門資格等の取得による提案型営業の推進
- ・人的資本経営推進 社員研修等による人材の育成

5 海外拠点との連携強化

- ・新規海外拠点の検討

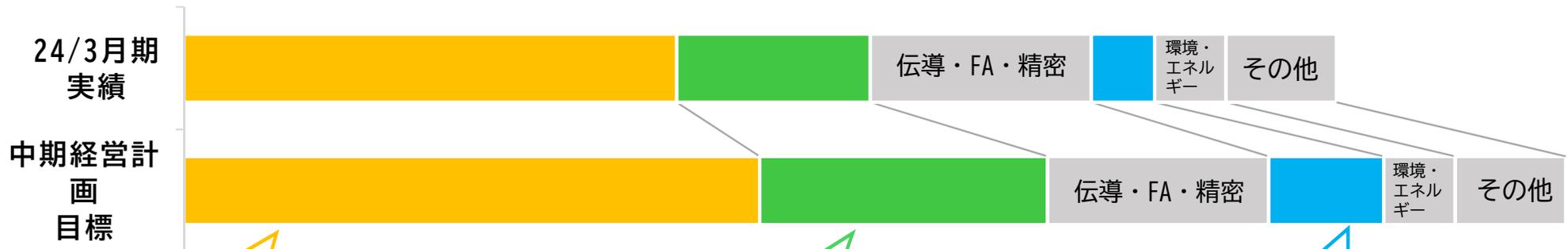




今後の戦略について ～事業戦略②～

◆ 新市場開拓 ～業種別シェアの拡大～

成長チャンスをいち早く察知し、新たな社会需要を取り込む



半導体・液晶及び電子部品

生成A I / 5 G / メタバース等の情報通信技術普及による中長期的な半導体関連設備投資は旺盛に推移。他社には無い、付加価値の高い商材を投入し市場拡大する。

注力商材：空気圧機器、ろ過フィルター

自動車・車載部品

既存顧客に加え、新規E V / H V 関連設備への商材と自動化システムを積極提案し、当社業種別シェアを25%へ拡大。当社の主軸となる業種として育成する。

注力商材：協働ロボット、自動化システム

医療・食品

M & Aにより、理化学系商社を完全子会社化。当社業態と異なることから相互補完関係にあり、お互いの保有する優れた商材と販売ノウハウを共有し事業拡大を目指す。

注力販売先：医療/大学・研究機関



今後の戦略について ～大型展示会出展～

＜展示会出展報告＞

● 第4回 工場内の協働ロボット利活用展

会 場：東京ビッグサイト

開催日：2024年7月24日～26日

来場者数：2,460名

● UR協働ロボットフェアin仙台

会 場：サンフェスタ・仙台市

開催日：2024年8月22日～23日

来場者数：122名

＜出展予定情報＞

● 第27回 関西機械要素技術展

開催日：2024年10月2日～4日

会 場：インテックス大阪



当社の取扱い商品や事業内容を紹介し、商談を行いました。今後の注力商品についてもデモ機実演を交えて紹介し、具体的な引き合いを多数いただきました。

ご来場いただいた方々へのフォロー活動を実施し、今後の取り引き拡大へ努めています。

今後も大型展示会に出展し、売上規模拡大や新規顧客開拓を取り組み、TOBAブランドの強化・企業価値の向上を目指します。



今後の戦略について ～環境対応商品～

～環境にやさしい商品～

半導体業界向サーモチャラー
フロンレス(CO₂冷媒)対応
のご案内



GWP:1
(自然冷媒)

EU冷媒規制:
GWP150以下*

米国冷媒規制:
GWP700以下*

カリフォルニア州冷媒規制:
GWP750以下
*2023年12月現在

空輸可能

使用冷媒が無毒かつ不燃性*につき空輸制限なし
*A1 (ASHRAE34規格)

フットプリント 21%削減*

スリム設計により効率的なチャラー配置可能
*当社比

作業性向上

フロントから循環液の補充が可能

フロン管理 工数ゼロ

フロン排出抑制法に基づく簡易点検不要

フロン回収&廃棄コストゼロ

フロンの回収/廃棄コスト不要

INR-495-042/043

SMC(株) フロンレス対応サーモチャラーとは、冷媒に従来のフッ素化ガスではなく、CO₂(二酸化炭素)を用いており、低いGWP値(地球温暖化係数)を実現した、**環境にやさしい商品**です。フロンの回収と廃棄コストも不要になります。サーモチャラーは半導体製造工程において、冷却により、ウエハーを熱から守る重要な役割を果たします。

～トピック～

この度 当社はSMC株式会社様より、栄誉ある「エリートパートナー代理店」として認定されました。
今後も人や環境にやさしい商品の販売に貢献します。





今後の戦略について ～ 株式の取得（連結子会社化）～

2024年1月31日、株式会社和泉テック及び株式会社和泉テクニカル・ラボの2社の全株式を取得し、連結子会社化いたしました。

当社グループと株式会社和泉テック及び株式会社和泉テクニカル・ラボは、得意とする販売先の業界及び業種が異なることから相互補完関係にあり、互いの保有する優れた商材と販売ノウハウを共有することで、当社グループの持続的な成長につなげてまいります。

■ 株式会社 和泉テック

■ 株式会社 和泉テクニカル・ラボ

宮城県仙台市泉区市名坂字御釜田143-4

大学研究機関を中心に理化学機械器具の受託販売、研究の受託及び測定機器の開発、製造を行っており、長年業界に特化したノウハウを活かした営業活動を展開しております。



株式会社 和泉テック
Science Technology Supporter





株式
会社

鳥羽洋行

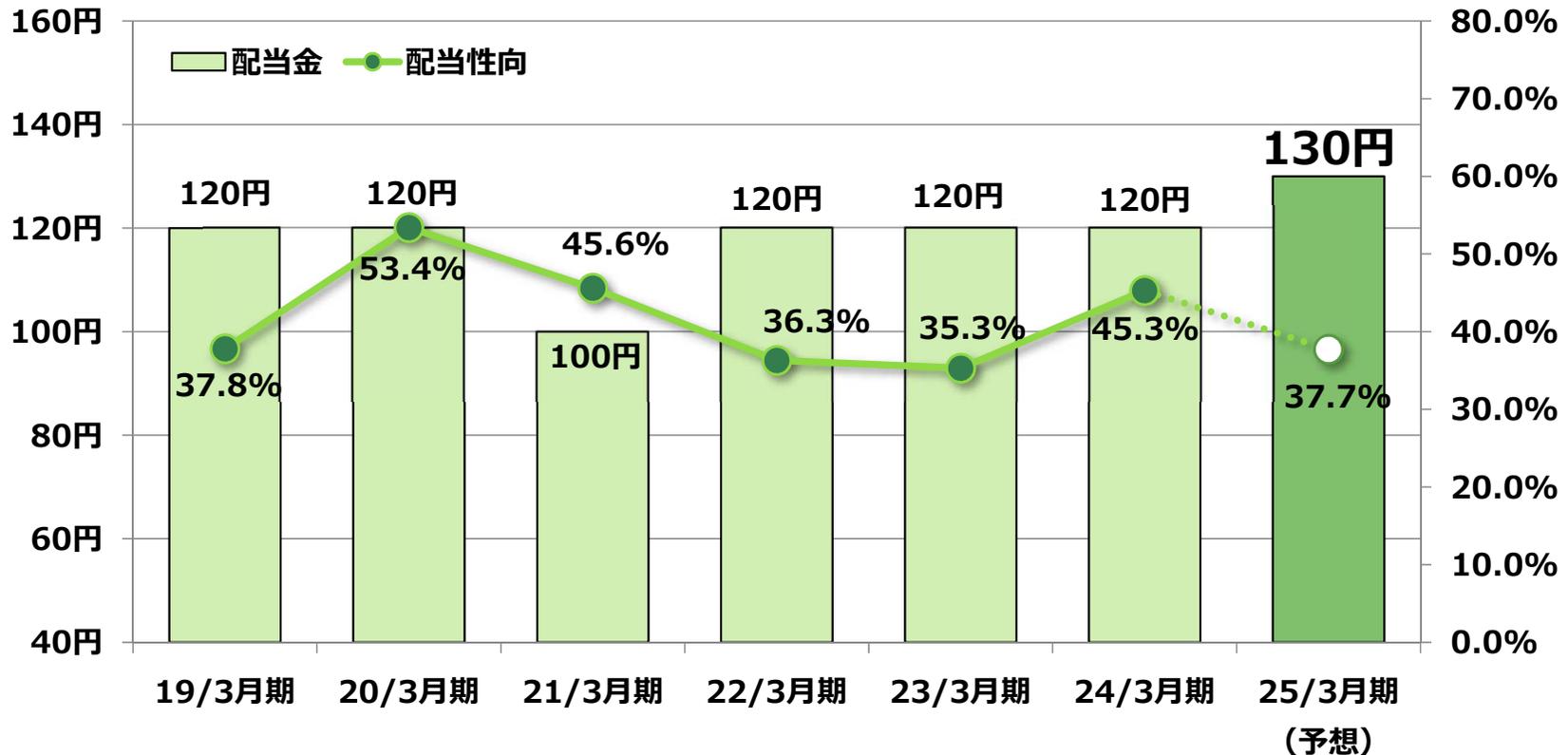


積極的な株主還元



積極的な株主還元 ～配当の推移～

1株当たりの配当金及び配当性向の推移



※21/3月期については、創業115周年記念の記念配当金20円が含まれております。

◆ 当社の株主還元方針

- 1株当たりの配当金 40円下限
- 連結配当性向 35%以上



積極的な株主還元 ～自己株式取得状況～

自己株式取得の状況

実施時期	取得株式数	取得単価	取得額	発行済み株式総数 に対する割合
2021年11月	70,000株	2,561円	179,270,000円	1.4%
2022年2月	50,000株	2,780円	139,000,000円	1.0%
2022年11月	145,000株	2,750円	398,750,000円	3.0%
2023年5月	33,800株	2,940円	99,372,000円	0.7%
2023年11月	80,000株	3,115円	249,200,000円	1.7%
2024年5月	56,000株	3,600円	201,600,000円	1.1%
合計	434,800株	—	1,267,192,000円	9.2%

※ 2022年3月末日において自己株式30万株を消却しているため、発行済み株式総数は500万株から470万株になっております。

◆ 当社は、自己株式の取得等の間接的な株主還元についても積極的に実施する方針です。



積極的な株主還元 ～株主優待～

- 株主優待は、「QUOカード」を採用しています。
- QUOカード購入代金の一部は、「**緑の募金**」へ寄付されます。



対象株主	継続保有 3年未満	継続保有 3年以上
100株以上500株未満	1,000円	2,000円
500株以上1,000株未満	2,000円	4,000円
1,000株以上	3,000円	6,000円

株主優待の割当基準日は、毎年9月末日です。



積極的な株主還元 ～株価・配当情報～

終値（9/11） **3,440円**

今期の配当金予想 **130円**

※2024年5月10日発表

予想配当利回り **3.78%**

株式会社鳥羽洋行
証券コード

7472

<https://www.toba.co.jp/>



この資料には、2024年9月11日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

■ お問い合わせ先

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp